

全小中学校に太陽光発電システムを設置

井手町では平成22年3月に町内の3小中学校に太陽光発電システムを設置しました。

各学校では4月から太陽光エネルギーを使い、学校で使用される電力の一部を賄っています。発電量は天候によって左右されますが、最大発電能力は各学校とも20キロワットの発電ができ、1校あたりの年間予想発電量は2万キロワットアワーとなっています。この発電によるCO₂の削減効果は10mの高さのクスノキに換算すると約20本分に相当する効果があるとされています。

毎日の発電状況は学校に設置されたモニターによって表示され、児童生徒もこのモニターを見ることで太陽光発電への関心が次第に高まってきています。太陽光発電の導入を契機に低炭素社会への関心を高め、エコ実践活動を教職員や児童生徒だけでなく、PTAや町内各家庭にも呼びかけ環境教育を推進しています。



(泉ヶ丘中学校屋上太陽光発電設備外観)



(泉ヶ丘中学校屋上太陽光発電設備)



(多賀小学校屋上太陽光発電設備)



(井手小学校屋上太陽光発電設備)



(全小中学校の校舎内に設置されたモニターに刻々変わる発電状況や写真も表示される)